

平成30年8月23日
九州地方整備局

国営海の中道海浜公園の魅力向上に向けた
マーケットサウンディング調査の結果を公表します。

国営海の中道海浜公園では、多様化し続けるレクリエーションニーズに柔軟に対応し、多くの方に利用され、満足していただける公園であり続けるため、官民連携による魅力向上の取組を進めていきたいと考え、民間事業者からより一層当公園の魅力を高めるようなアイデア、意見等を募集する、マーケットサウンディング調査を実施しました。その結果を別添のとおり公表します。

※マーケットサウンディング調査とは、民間事業者から広く意見、提案を求め対話を通して市場性や事業フレームを検討するための調査です。

○実施期間

参加事業者説明会 平成30年5月30日（水）

個別対話 平成30年7月3日（火）～平成30年7月23日（月）

○今後の予定

頂いたご提案、ご意見等を参考に公募条件等の検討を進め、2019年度に事業者公募を予定しています。

※下記の九州地方整備局建政部ホームページ内にも掲載しております。

http://www.qsr.mlit.go.jp/n-park/park/index_kanminrenkei_marketing.html

問い合わせ先

国土交通省 九州地方整備局 電話番号：(092)－471－6331（代表）

(092)－707－0187（直通）

建政部 公園調整官 平塚 勇司（内線：6170）

建設専門官 松永 鉄冶（内線：6115）

国営海の中道海浜公園の魅力向上に向けたマーケットサウンディング調査

対話結果の公表について

1. 対象範囲

提案は、本公園全体（一部施設を除く）を対象としました。

2. 実施期間

○参加事業者説明会 ……2018年5月30日（水）

○提案書の提出期間 ……2018年5月16日（水）～6月29日（金）

3. サウンディングの参加状況

○参加事業者説明会の参加者 ……17社・グループ

○個別対話の参加者 ……9社・グループ

4. サウンディング結果の概要

(1) 対象エリア

- ・ B地区への提案が最も多く、その他、C地区への提案がありました（※地区のゾーニング図は巻末参照）。

(2) 事業内容

【事業提案】

- ・ B地区では、オートキャンプ、グランピング、ログハウス、水上コテージ、テーマ型ホテル、会員制リゾートホテル等の宿泊施設に関する提案があり、このほか、運動を含めたレクリエーション施設、マリンスポーツ施設（カモ池での栈橋設置）に関する提案がありました。魅力向上のための仕掛けについては、海やカモ池を活かしたカヤック、スタンドアップパドルボード、水上バイク等のマリンスポーツ、自然資源の活用、健康増進をテーマとしたアクティビティ、環境学習プログラム、夜間における光を活用したイベント等、様々な提案がありました。
- ・ C地区では、大型テーマパーク、ロードサイド店舗、マリンスポーツ施設（博多湾での栈橋設置）、遊戯施設・プールなど既存施設の改修に関する提案がありました。魅力向上のための仕掛けについては、公園アプリの導入、ステージ等でのコンサート、パフォーマンス等の提案がありました。

【想定される事業効果】

- ・ 想定される事業効果については、利用者の少ない地区での利用者増大による園内利用の平準化、閑散期における公園利用者の増加、ファミリー層以外の利用者の増加等の提案がありました。

【周辺地域との連携、地域への貢献】

- ・ 周辺地域との連携、地域への貢献については、地元雇用促進、食材等の地元からの調達、地元小学校・中学校への自然体験プログラムの提供等の提案がありました。

(3) 事業実施条件

- ・ 事業方式、事業期間については、P-PFI 制度や PFI 事業など、事業規模に応じて様々な提案がありました。また、事業期間についても、提案頂いた事業規模に応じて、10年、20年の他に、50年といった長期に渡る設定もありました。
- ・ 営業時間については、提案頂いた事業特性に応じて、24時間や夜間の営業を前提とした提案がありました。

(4) 取り組みにあたっての課題

- ・ 提案された事業内容にあわせた、営業時間の変更、対象エリアの入園料の徴収方法等、運営面についての課題が挙がりました。
- ・ 投資回収リスクの軽減の観点から、土地使用料を軽減してほしいという意見がありました。
- ・ B地区は駅や渡船場からのアクセスが不便であるため、交通アクセスの改善が課題として挙がりました。

5. 今後の予定について

- ・ 今後、頂いたご提案、ご意見等を参考に公募条件等の検討を進め、2019年度に事業者公募を予定しています。

【参考：公園のゾーニング図】

